

九州はあまい？



☆気になるニュース

私は、通勤中にラジオを聞いているのですが、ある番組で小中学生のむし歯について、気になるニュースを取り上げていました。

それは、小学校で5年連続、中学校で3年連続、北九州市はむし歯ありの割合が政令指定都市の中でもっとも多い、つまりワースト1が続いており、北九州市の教育委員会が対応に乗り出した、というものです。

☆ランキング

北九州市教育委員会のデータによると、同市におけるむし歯ゼロの割合は、2019年度の小学校で約45%、中学校は約56%となっており、ともに全国最下位でした。ちなみに福岡市は小学校で約56%、中学校は約62%という結果です。

また、同市内におけるむし歯のある小学生の割合は、2019年度で約56%（全国平均約45%）、中学生は約44%（全国平均約34%）でした。小中学校ともに全国値を10%上回る状況は解消したといえます。

今後、北九州市では学校・家庭・歯科医院それぞれの現場でどんな取り組みが可能か検討することですが、私はそのニュースを聞いて、ローカルに考えるといかなさと思いました。

☆生活習慣

むし歯は「生活習慣病」であることがわかっています。生活習慣を見直せば、治療後の再発を防げますし、病気になるいよう予防することもできます。

「シUGARロード」といって、砂糖が伝えられた長崎から江戸までの道筋にある地域では砂糖消費量が多く、甘いもの好きな風土です。北九州市や福岡市はむし歯ゼロが少なく、新潟市はむし歯ゼロが多いのは、この影響が考えられます。

☆歯科でフッ素

フッ素を活用して体質改善⇨歯の質を強くすることは、むし歯予防に有効です。

歯にフッ素を浸透させるには、学校など集団でおこなうことが多いフッ素洗口法よりは、個別に歯科医院でおこなうフッ素塗布法、なかでも一定時間確実に浸透させるトレー法がおすすめです。

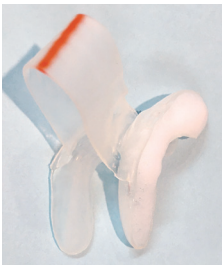
☆健診のすすめ

歯科健診を受けると、むし歯予防の情報もフッ素活用も、どちらも得ることが出来ます。

甘いもの好きは九州の小さなお子さまは、年に3〜4回のペースで、定期的に歯科医院で健診を受けることをおすすめします。



お話いただいたのは
近藤 嘉人 院長



● 情報クリップ ●

新型コロナウイルスの収束が待たれるなか、わたしたちは万全の感染対策をとりながら診療しております。皆様とともに、この困難を乗り越えてまいりたいと思います。

医療法人 元気が湧く
こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科

診療時間 ●診療時間 9:00～18:15
●昼休み 平日12:30～14:00
土日13:00～14:30
●休診 火曜・祝日(土日診療)

院長 経歴 H2 九州大学歯学部卒業 九州大学歯科矯正学講座入局
H8 日本矯正歯科学会認定医取得 小児歯科はまの勤務
H19 こどもの歯科に名称変更 院長に就任

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
〈市営 大橋駐車場をご利用ください〉

☎092(551)8080

ホームページ <http://kodomonoshika.com/>

